学校番号	3032Ｂ

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)地理歴史 総合演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」　（山川出版） 「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」（二宮書店） 「コンパクト地理総合 地図」（二宮書店）						
副教材等	要点整理ゼミナール歴史総合　（浜島書店） サクシード地理　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○「地理総合」の「国際理解」・「地球的課題と国際協力」に関する分野や「歴史総合」の「グローバル化と私たち」に関する総復習や問題演習を行います。また、適宜自身の興味・関心のあるトピックに関して調べ、発表すること等も行う。

2　学習の到達目標

○「地理総合」の国際理解・地球的課題と国際協力に関する知識や「歴史総合」の「グローバル化する私たち」に関しての基本的な知識や用語・概念などが身についている。また、学習した各テーマについて自身の意見を持ち、まとめる等表現することができているか。
○学習内容を踏まえ興味関心のあることについて適切に調べ、発表することができる。
○学習した内容を踏め、地理的・歴史的な見方や考え方を活用し、自身の学校生活・進路選択や今後に生かそうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:地理総合や歴史総合で学習してきた内容を再度捉えながら考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念・理論・制度などについて理解する。 技能:多様な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・問題演習などを通して、地理・歴史に関わる概念や制度などについて考えることができる力を涵養する。 ・地理的な視点や歴史的な視点を踏まえて、社会問題や現代の諸課題について自分自身の考えをまとめ、自分の考えを発表することができる力を養う	・学習した内容や取り組み姿勢を振り返り、その後の取組などに生かすことができる力を養う ・授業や課された課題に意欲的かつ粘り強く取り組む力を深める

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地理	①地域統合(ヨーロッパ) ②アメリカの発展 ③人口食料問題	a:図版や写真から各地域や各国(EU と周辺諸国・ロシア・アメリカ・カナダ)の地理的特徴や諸課題について捉えることができているか。また各地域や課題を整理できているか。 b:各地域や各国の諸課題・人口や食料問題について、地理的な観点から考察できているか。また、考察をもとに各々でワークシートに自分の意見などを表現することができているか。 c:各地域や各国の地理的環境や 状況について意欲的に探究する ことができたか。	定期考査	定期考査 ワークシート	学習状況の観察

	地理	①居住都市問題 ②資源エネルギー問題 ③生活圏の諸課題	a:持続可能な社会を目指すSDGs の目標と趣旨を理解できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえて都市の構造を理解できたか。 b:世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGs の目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。 c: 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。	定期考査	定期考査 ワークシート	学習状況の観察

後期	歴史	①冷戦下の各国の様子(欧米諸国・アジアアフリカ諸国・日本) ②緊張緩和と冷戦構造の揺らぎ	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理等を基に、国際政治の変容を理解している。 b:地域紛争の背景や影響、冷戦の各国への影響に着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソ連の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響に着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較するなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴などを多面的・多角的に考察している。 c:冷戦と世界経済について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	学習状況の観察
	時事問題・学習内容のまとめ	①興味・関心のある項目や出来事などについて調べる・発表する ②学習してきた内容を振り返る	a: 各々が興味の持っているニュースに登場する用語や制度について理解できているか。 b:時事問題や自身の興味関心のある項目について自分の力でまとめ発表することができているか。 c:多様な問題や出来事がある中で自己との関係に着目して主体的に題目を選択し、調査することができている。	定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	発表の様子 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度